

第6回ブラジリア日本祭り

佐藤大使挨拶（2017年5月6日）

皆さん、こんにちは。

ご臨席の皆様、そして日本を応援して下さっている全ての皆様、

まず、「第6回ブラジリア日本祭り」が盛大に開催されることを大変嬉しく思います。

主催されている中西部日伯協会連合会のエルミニオ・スギノ会長、クニヨシ・ヤスナガ日本祭りコーディネーター、その他ご尽力されているすべての皆様にお祝い申し上げます。特に、ボランティアの方々に深く御礼申し上げます。皆様のご協力無くしては、この日本祭りを実現できなかったでしょう。

日本祭りは、日本の文化を広く紹介する極めて重要な機会です。こうしたイベントを通じて、太鼓や日本食は既にブラジル文化の一部になっています。柔道や空手、剣道といった我が国由来の武道もブラジルに深く根付いています。このような日伯の友好関係を更に発展させる活動を積極的に行っておられる日系社会の皆様に心からの敬意を表します。

さて、「ブラジリア日本祭り」は、一昨年は3万人、昨年は4万人の参加者がありました。このように年々より多くの地元市民の関心と呼び、ブラジリアの代表的行事の一つとして発展していることを本当に喜ばしく思っています。

折しも、去る4月30日、サンパウロでテメル大統領と麻生副総理の出席を得て、「ジャパン・ハウス」の開館式が行われました。今日の日本の多様な魅力を感じられる、新しい拠点です。本6日より一般オープンとなりますので、是非皆様にも訪れて頂きたいと思います。

結びに、「日本人伯移住110周年」を迎える来年に向けて、日伯の文化交流がますます大きく盛り上がること、より多くの皆様に日本文化への親しみを持って頂けることを祈念致します。皆さん、日本祭りを楽しみましょう！どうも有り難うございました。

（了）